

泉南市教育委員会会議 令和6年第5回定例会会議録

(1) 日時・場所

令和6年5月21日(火)

令和3時00分 開会 午後3時49分 閉会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

(2) 教育委員会出席者

富森 ゆみ子	教育長
太田 淳子	教育委員会委員(教育長職務代理者)
湊 久晶	教育委員会委員
飯沼 治美	教育委員会委員
辻野 治重	教育委員会委員

(3) 事務局出席者の職氏名

桐岡 秀明	教育部長
三野 薫	教育部参与
川口 哲生	教育部次長兼指導課長
水田 好彦	教育総務課長
上柴 忠孝	教育総務課参事(学校給食センター所長)
辻 康治	生涯学習課長
服部 雄二	生涯学習課参事(青少年センター館長)
森 大輔	生涯学習課参事(人権・スポーツ担当)
石田 剛王	学力向上対策室長兼指導課参事(指導担当)
鳴戸 大輔	人権国際教育課長

(5) 休憩・遅刻等について

(6) 会議録署名者の氏名

富森 ゆみ子
湊 久晶

泉南市教育委員会会議 令和6年第5回定例会 議事日程

令和6年5月21日(火) 午後3時00分 開会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

日程番号	議案等の番号	件名
日程第1		開 会 会議録の承認
日程第2		会議録署名者の指名
日程第3	報告第1号	教育長報告
日程第4	報告第2号	事務局報告 (1) (仮称) 西信達義務教育学校建設に係る基本計画策定業務・民間活力導入可能性検討業務について (2) 泉南市学校給食費物価高騰対策支援金交付要綱の制定について (3) 令和5年度泉南市立学校における問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題について
日程第5号	議案第1号	泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱について
日程第6号	議案第2号	泉南市就学支援委員会委員の委嘱について
日程第7号	議案第3号	泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会委員の委嘱について
日程第8号		その他

午後3時00分開会

○冨森教育長 それでは、ただいまから、泉南市教育委員会会議令和6年第5回定例会を開催いたします。

出席者が過半数であり、定足数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

本日は傍聴の方がいらっしゃらないようですので、これより日程に入ります。

日程第1、会議録の承認についてお諮りいたします。

泉南市教育委員会会議令和6年第4回定例会会議録は、既に案として委員の皆様へ配付をいたしており、確認をいただいておりますので、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○冨森教育長 全員異議なしと認めます。よって泉南市教育委員会会議令和6年第4回定例会会議録は、承認することに決定いたしました。

次に、日程第2、会議録署名者の指名を行います。

本日の会議録署名者は、泉南市教育委員会会議規則第13条により、教育長のほかに教育長において、湊委員を指名いたします。よろしくお願いたします。

次に、日程第3、報告第1号、教育長報告を議題といたします。

(報告開始)

それでは改めまして、皆様、こんにちは。

本日は、あおぞら幼稚園の視察ありがとうございました。泉南市は、小中一貫教育を推進しているところなんですけれども、それ以外に、幼稚園と小学校、幼稚園と中学校の連携も、それぞれの学校園の状況に応じて行われておまして、本日のあおぞら幼稚園と一丘小学校の交流はその一つでございます。5月の教育委員会会議終了後に視察いただきました青少年センターの御感想なども含めまして、後ほどお聞かせいただければと思いますので、よろしくお

願いたします。

それから、4月26日、27日には、近畿都市教育長協議会が和歌山市を会場に行われました。毎回各府県から事例発表がございますが、大阪は、前泉南市教育長でもある東大阪市教育長の古川教育長から「持続可能な未来をつくるための東大阪の非認知能力」と題した発表がありました。東大阪でも様々取組みをされているところですので、私どもも参考にさせていただきたいと思っております。

また、5月9日、10日には、長崎市で全国都市教育長協議会の総会に参加してまいりました。こちらは全体を3部会に分けて、私は学校教育の部会に参加してまいりましたが、キャリア教育の実践など、全国各地の取組みを聞けましたこと、また、質疑応答が活発に行われておまして、そのやり取りもとても参考になったところがございます。

特に、教育長をやっている方は、教員出身とか行政職の出身の方が多いんですけども、発表者のお一人の中に、55歳まで海上保安庁でお仕事をされていた方がいらっしゃいまして、例えば海上保安庁の潜水士の方は、とても危険な現場で過酷な環境、そのための厳しい訓練ということで、なかなか手が届かなかった仕事なんですけど、「海猿」のドラマや映画が大ヒットしたことで、潜水士の方が自分たちの仕事に誇りを持つことができ、やりたいと言う人も増えて、厳しい訓練にも前向きに取り組むような態度に変わってきたといえます。

それぞれいろんなお仕事があるけれども、仕事にプライドを持ってしっかりやり遂げることが大事なんだというお話をされておまして、確かにいろんな職業ありますけれども、そういったキャリア教育を通じて、自分の生き方というものをしっかりと子どもたちにも考えてもらいたいなと改めて思ったところがございます。

また、明日5月22日には、大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会が開かれますので、

御参加いただける委員様、どうぞよろしくお願
いいたします。

明日は、大阪府市町村教育室の榊田室長から
「生徒指導上の課題に対する大阪府の取組み」
という演題で御講演をいただく予定でござい
ます。大阪府の取組みについて、様々あります
けれども、他市の教育委員の方とともに学べれ
ばと思っておりますので、どうぞよろしくお願
いいたします。

今日、泉南市のホームページの一番トップの
ページに Facebook の写真が出ているんですけ
れども、5月10日にフィリピンの議員団の方
が泉南市を訪問されて、議場で市長・副市長や
市議会議員の方々と交流された際に、人権国際
教育課の職員と CIR が通訳をやっています、
その一人がフィリピンの方の同時通訳をやっ
ているところの写真が出ています。なかなか同
時通訳をするというのは難しいんですけども、
そういう職員がいてくれるというのはすごく
心強いなと思っておりますし、そういった姿を
子どもたちにもしっかりと見てもらって、英語
を自分も身につけたいなという気持ちになっ
てほしいなと思っております。

それから、一昨年11月に信達中学校に委
員の皆様と訪問した際に、中学2年生を対象に
行われている JFA のこころプロジェクト「夢の
教室」を視察していただきましたが、今年も5
月から11月にかけて、中学校2年生を対象に
行われます。

一昨年行ったときはコロナ禍でもあったの
で、ウェブで先生が来てやり取りするというこ
とだったんですけども、昨年度から実際に夢
先生が各中学校に来てお話をしてくださって
います。子どもたちに、夢を持つことや、その
夢に向かって努力することの大切さ、仲間と協
力することの大切さなどを伝えることを目的
とした授業でございまして、そういったことを
通じて、先ほどもございましたが、キャリア教
育の一助となればと思っております。

私からは以上でございます。

それでは、ただいまの報告に対し、御質問、
御意見等はございませんでしょうか。よろしい
でしょうか。

ないようですので、以上で本報告を終了いた
します。

(報告終了)

次に、日程第4、報告第2号、事務局報告を
議題といたします。

まず1点目といたしまして、(仮称)西信達
義務教育学校建設に係る基本計画策定業務・民
間活力導入可能性検討業務について、水田教育
総務課長から報告がございました。

○水田教育総務課長 それでは、私から、(仮
称)西信達義務教育学校建設に係る基本計画策
定業務・民間活力導入可能性検討業務について
御説明させていただきます。

配布しております資料は、1から4までござ
います。資料1、建設に係る民間活力導入可能
性検討報告書の概要版、資料2、同じく建設に
係る基本計画の概要版、資料3、建設に係る民
間活力導入可能性検討報告書、資料4、建設に
係る基本計画をお配りさせていただいております。

資料1、建設に係る検討報告書の概要版、そ
れから資料2、基本計画の概要版を使って御説
明させていただきます。

それでは、資料1、(仮称)西信達義務教育
学校建設に係る民間活力導入可能性検討報告
書の概要版の1から5まで説明させていただきます。

前回説明させていただいたものとフォーマ
ットはほぼ変わらず、最新の数字を入れさせ
ていただきました。(仮称)西信達義務教育学
校等の延床面積ですけれども、これまで1万
800平方メートルとしていましたが、9,810平
方メートルといたします。建設費は、前回84
億551万1,000円だったものが、今回79億8,900
万円ということで計算させていただきました。

今回、面積を前回から1,000平方メートル程

度抑えることで、有利な公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化事業）の利用が可能となります。それに合った形で作成いたしました。

今回、延床面積を抑えるに当たって、教室等の子どもたちの学習環境に影響が出ないように、その部分は減らさず、共用空間とか多機能空間の合理化を図ることで対応いたしました。

それから2番、民間事業者への意向調査については、前回からと変わってございませんので、また見ておいていただいたら結構かと思いません。

3番、事業スキームのまとめ、こちらの変更はございません。前回同様、民間活力導入を前提にやっていきたいと思っております。

それから4番、VFM 評価、バリュー フォーマネー (Value For Money) を再計算いたしまして、民間活力を導入することで、総事業費が10パーセント程度削減見込みとなります。DB手法、デザインビルド ((Design Build)は、右側の一番上のところ、建設費79億8,900万円が、DB手法とすることで72億3,195万1,000円と、事業費を削減することができる見込みとなっております。

それから、前回、御説明いたしましたDBO手法、デザインビルドオペレート (Design Build Operate) について、オペレートの維持管理部分を含めていたんですけれども、今後、維持管理につきまして、将来的に学校はじめ公共施設一括の維持管理方式というのを検討していく必要があるということで、今回オペレートを外してDB手法で進めていくということで検討しております。

それから、5. 想定事業のスケジュールの検討ということで、こちら前回お示したスケジュールと変更ございません。令和10年4月の開校を目指して事業を進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

主な変更点を御説明させていただきました。続きまして、資料2、基本計画の概要版につ

いて御説明させていただきます。

1～7ページの前半まで、地域の概要、児童生徒数の未来予測、地域の住民を交えたワークショップの結果等を載せております。このように地域の人を交えて義務教育学校についていろいろ検討いたしました。また御目通しください。

今後、地域の特性を鑑みた学校づくり、西信達地区は、海があり、防災教育を充実した学校にしていくとか、そういうことを考えながら、地域、保護者、先生方とみんなで話し合いながら、ハード面、ソフト面とも魅力的な学校にしていきたいと思ひます。また、多くの方が、他市からでも、こういう学校なら行かせたいなということで引っ越してきていただく、定住促進にもつながるような、地域の核となる施設になればと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

それから、7ページの右側の部分です。各教室の内訳になってございます。

前回こちらが1万800平方メートルでしたが、今回9,810平方メートルで作成しております。教室については変更ございません。特別教室の部分などを若干合理化しております。それから管理関係で保健室は120平方メートルを130平方メートルに、配膳室は40平方メートルを80平方メートルにと広くしました。

エントランス、トイレなどの共用空間を少し小さくし、2,500平方メートルを2,370平方メートルに減らしています。

留守家庭児童会は200平方メートルを150平方メートル、コミュニティセンターの部分は400平方メートルを250平方メートル、消防分団車庫は200平方メートルを100平方メートル、防災倉庫も100平方メートルを50平方メートルに合理化し減らしまして、9,810平方メートルに設定させていただきました。

つづきまして、8ページ、9ページについては前回とほぼ変更ございません。

最後の10ページ、金額が79億8,900万円の内訳、どれにどれだけかかるかというものにな

っております。

今後の課題として、「事業実施に向けて」、「計画段階に向けての検討課題」、「工事段階における検討課題」、「学校施設及び多機能化施設の運営に向けて」と、いろいろ考えなくてはならない課題というものもまだあります。こういう課題を解決しながら、こういう学校にしたいという公募に係る要求水準をつくっていきたいと思います。

今後、この西信達地区の義務教育学校はじめに学校再編がどんどん進んでまいります。西信達地区の義務教育学校が最初となり、ここが基準になり今後どんどん進んでいくと思いますので、我々も気を抜かず、より良い学校、地域に根差した学校をつくってまいりますので、今後とも皆様方、御協力のほどよろしくお願いいたします。

(仮称)西信達義務教育学校の建設についての説明は、以上となります。

○冨森教育長 ただいまの報告に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、泉南市学校給食費物価高騰対策支援金交付要綱の制定について、上柴教育総務課参事(学校給食センター所長)から報告がございました。

○上柴教育総務課参事(学校給食センター所長)

私から、報告第2号、事務局報告(2)泉南市学校給食費物価高騰対策支援金交付要綱の制定についてにつきまして、御説明申し上げます。要綱の1ページを御覧ください。

まず、第1条は、本要綱の趣旨について規定しており、原油価格や物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対する支援事業として、市内の小中学校に在籍する児童生徒の保護者が負担する学校給食費の負担軽減を実施するために、予算の範囲内において支援金を交付することに関し、必要な事項を本要綱で定めることに

なっております。

次に、第2条は、この支援金の交付を受けることができる支援対象者として、泉南市立小学校及び中学校に在籍する児童又は生徒の保護者と規定しております。

続いて、第3条は、支援金の交付の対象となる経費は、泉南市立小学校及び中学校に在籍する児童又は生徒が令和6年4月1日から令和7年3月31日までに食する学校給食に係る学校給食費と規定しております。

第4条は、支援金の額について、小学校児童1人につき月額500円、中学校生徒1人につき月額500円と規定をしております。

また、第5条は、支援金の交付申請等の委任について、第6条は交付決定について、第7条は概算払について、第8条は実績報告について、第9条は支援金の額の確定について、第10条は支援金の返還について、第11条は受任者の責務について、第12条は補則について、それぞれ規定しております。なお、3ページから9ページについては、各様式を掲載しております。

以上、簡単ではございますが、報告第2号、事務局報告(2)泉南市学校給食費物価高騰対策支援金交付要綱の制定についての説明とさせていただきます。

○冨森教育長 ただいまの報告に対し、御質問、御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に、令和5年度泉南市立学校における問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題について、川口教育部次長兼指導課長から報告がございました。

○川口教育部次長兼指導課長 それでは報告第2号、事務局報告(3)令和5年度泉南市立学校における問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題について、御説明をさせていただきます。資料の中段から下の表を御覧ください。

内容としましては、各項目に対する小学校・

中学校別の件数及びその右側には小中学校の合計数を、令和2年度から5年度までの年度別に記載しているところでございます。

まず初めに、対教師暴力についてでございます。

令和4年度と比較しますと、令和5年度では中学校において増加しております。その要因としましては、生徒が教員の指導に対し感情的になり反発したということが増加した要因であると聞いているところでございます。

次に、生徒間暴力でございます。令和4年度において、過去3年間で小中学校の合計件数としましては最も多い123件でございましたが、令和5年度においては、小中学校の合計件数が81件と減少しております。しかし、現状としましては、中学校では、同じ生徒による繰り返しの暴力行為が見られるというところでございます。

次に、器物破損につきましては、小学校・中学校で1件ずつあるところでございます。小学校では生徒の持ち物の破損、そして中学校では窓ガラスの破損となっているところでございます。

次に、授業エスケープでございますが、令和4年と比較すると減少しておりますが、その要因としましては、通常教室以外に、校内教育支援ルームや個別指導の充実によりまして、教室に入りづらくなった生徒の居場所づくりに努めたことが減少した要因と考えているところでございます。

次に、喫煙指導についてでございます。小中学校ともに、令和4年と比較すると増加傾向にあります。対応としては、学校の内外において喫煙指導を行っているところでございます。

次に、その他の問題行動でございますが、主なものとしては、万引きが小学校において5件と増えております。その他の内容につきましては、昨年度と比較してあまり変化等はございません。

次に、学校生活におけるいじめ認知件数につ

いてでございます。

小中学校を合わせると333件と、令和4年と比較すると増加しております。この要因としましては、生徒児童の状況を把握し、いじめの積極的認知を進めた結果、これは令和4年度から進めているんですけど、認知件数が小中合わせると増加しております。うち、指導中が92件、解消については241件となっております。また、いじめの態様でございますが、冷やかしたり悪口が小中ともに多い状況でございました。

次に、長期欠席、30日以上欠席となる人数でございますが、小中学校を合わせると225人と、令和4年度と比較すると減少しております。また、30日以上不登校158名のうち、好ましい変化が見られた37人、登校ができたというのが36人ということになっております。

次に、中段の、泉南市教育委員会としての取り組みについてでございます。

まず1点目です。生徒指導を組織的、体系的に行うことにより、専門家、スクールソーシャルワーカーであるとか、スクールカウンセラー、そしてスクールロイヤーを含めた「チーム学校」による支援が機能的に展開されるような取り組みを進めるように考えております。

次に、2点目としまして、日常の教育活動において、「発達支持的生徒指導」に取り組むという考えでございます。この「発達支持的生徒指導」につきましては、児童生徒にとって学校が安全・安心な居場所になるための魅力ある学校づくりと、分かりやすい授業の工夫、つまり、個別最適な学びを実現するために指導の個別化、学習の個性化を図るということを取り組みたいと考えております。

続きまして、3点目でございます。子どもたちがどういった力をつけたいか、中学校区における小中一貫教育「めざす子ども像」を教職員同士で共有し、取り組みを進めるものでございます。

この「どういった力」ということの指している意味でございますが、子どもの成長過程でつ

けてほしい力ということを考えておりました、主な内容としましては、まず、挨拶や返事を元気よくすることができるつながる力、そして、計画することの大切さに気づき、手順を考えることができる描く力、そして、自分にとって大切なことを認識することができる分かる力、そして、自分の力に自信を持ち、やりたいことを選ぶ力、こういったことを、この成長過程で身につけていただきたいと考えておるところでございます。

そして、この内容の趣旨でございますが、一度不登校になると、継続する可能性があるというのが傾向として出ております。今後進めていく中学校区での小中一貫教育を進めるに当たりまして、9年間の連続した指導で、生活面であるとか学習面における小中の段差を緩和して、子どもたちの安心につなげていきたいと考えております。以上3点でございます。

○**冨森教育長** ただいまの報告に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。

湊委員、お願いします。

○**湊委員** 令和2年、3年、4年、5年と、4年間の数字を挙げてもらっているんですけども、できればこの表の中に、各年度の小学校の総児童者数、中学校の総生徒数も書き入れていただければ、より分かりやすい表になるのかなと思います。

○**冨森教育長** 川口教育部次長兼指導課長。

○**川口教育部次長兼指導課長** 御提案ありがとうございます。また今後こういった資料を作成する上で検討していきたいと考えておりますので、御了解いただきますようお願いいたします。ありがとうございます。

○**冨森教育長** ありがとうございます。よろしいでしょうか。

他に何かございませんか。太田委員、お願いします。

○**太田委員** 令和5年度の数値から見えることの中にある授業エスケープについてなんですけど、通常教室以外で、校内教育支援ルームや個別指導の充実により、減少が見られるというふうに書いていただいているんですけど、私は、授業エスケープをなくすには、やっぱり授業の改善が必要なんじゃないかなと思ってはいたんですけど、こういったハードの面を少し工夫することでも、エスケープは減少することができるんだと思って、なるほどなと思いました。また（仮称）西信達義務教育学校の設計のときとかもこういったことを活用されたらどうかなと思います。

○**冨森教育長** ありがとうございます。

何か事務局からありますか。桐岡教育部長。

○**桐岡教育部長** （仮称）西信達義務教育学校の説明をさせていただきましたけども、委員の御指摘のとおり、ハードの部分で子どもの育ちに寄与できる部分につきましては、当然学校の先生の意見を聞きながら、強化を図っていきたいと思います。ありがとうございます。

○**冨森教育長** ありがとうございます。よろしいですか。

ほかに何かございませんか。よろしいでしょうか。

ないようですので、以上で本報告を終了いたします。

次に、日程第5、議案第1号、泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を、水田教育総務課長からお願いいたします。

○**水田教育総務課長** それでは、日程第5、議

案第1号、泉南市教育委員会評価委員会委員の委嘱について、私から御説明させていただきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の中で、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行わなければならないとございます。それに伴って、泉南市教育委員会評価委員会を設置しているところでございます。

今回、次の者を泉南市教育委員会評価委員会委員に委嘱したいので、泉南市教育委員会評価委員会規則第3条第1項及び第2項の規定により、承認を求めます。

上から順に、岡本晃様。泉南市青少年指導委員協議会の副会長をやっています。去年もやっていたんですけども、評価委員会評価委員、毎年評価が終わりましたら解任ということになっておりますので、全て新任ということになります。佐野耕治さん、元小学校の校長先生でございます。こちらも新任。松本愛さん、泉南市のPTA協議会の会長をやっておられます。それから宮崎勝男さん、こちらも元小学校の校長先生でございます。

以上の4人を委嘱したいため、提案するものでございます。

以上です。

○冨森教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、以上で質問、意見等を終了し、議案第1号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○冨森教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第6、議案第2号、泉南市就学支

援委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を、川口教育部次長兼指導課長からお願いします。

○川口教育部次長兼指導課長 失礼いたします。

議案第2号、泉南市就学支援委員会委員の委嘱について御説明を申し上げます。

次の者を泉南市就学支援委員会委員に委嘱したいので、泉南市就学支援委員会規則第3条の規定により、承認を求めます。

資料の7ページ以降につきましては、泉南市就学支援規則をつけてございます。いわゆる次年度の支援学級等の入級または支援学校等への進学等につきまして話し合いを行う委員会の委員でございます。

委員につきましては、1ページから4ページにおいてお示ししておりますように、再任の方も含めまして計29名の委員の承認を求めます。

なお、現在の泉南市就学支援委員につきましては、令和6年6月25日で任期満了になるため、御提案申し上げます。泉南市就学支援委員として29名の方を適任と認め再任及び新任したいので、御承認を求めます。御審議のほどよろしくお願いをいたします。

○冨森教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、以上で質問・意見等を終了し、議案第2号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○冨森教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第2号は承認することに決定いたしま

した。

次に、日程第7、議案第3号、泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

本議案の説明を、水田教育総務課長からお願いいたします。

○水田教育総務課長 それでは、私から、日程第7、議案第3号、泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会委員の委嘱について御説明させていただきます。

先ほど御説明いたしました（仮称）西信達義務教育学校の建設に向けて、今後動いてまいります。その中で、建設事業者を公募で選定ということになっていますので、その選定委員会委員の委嘱についてでございます。

次の者を、泉南市教育委員会プロポーザル方式による事業者選定委員会委員に委嘱したいので、泉南市教育委員会の事務委任に関する規則第2条第1項第12号の規定により、承認を求めます。

一番初め、岡崎均様、学識経験者、大阪体育大学教育学部の特任教授でございます。梶田晋呉様、こちらも学識経験者、京都先端科学大学経済経営学部特任教授でございます。菊池健太郎様、学識経験者、公認会計士でございます。鈴木賢一様、こちらも学識経験者、名古屋市立大学の特任教授。徳尾野徹様、学識経験者、大阪公立大学工学部建築学科の教授でございます。学校の教育、学校建築、民間活力、会計に係るエキスパートの方ばかりを選ばせていただいております。

以上の者を適任者と認め委嘱したいため、提案するものでございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○冨森教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

ないようですので、以上で質問・意見を終

了し、議案第3号を採決いたします。

お諮りいたします。本議案を承認することに御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○冨森教育長 全員異議なしと認めます。よって議案第3号は承認することに決定いたしました。

次に、日程第8、その他です。

本日のあおぞら幼稚園訪問、先月の青少年センターを訪問した感想などを、教育委員の皆様にお伺いしたいと思います。また、今後訪問したい学校園でありますとか、取組み、施設などございましたら、御意見いただきますようお願いいたします。

それでは、太田委員から順番にお願いいたします。

○太田委員 今日はどうもありがとうございました。あおぞら幼稚園、私も入園式とか卒園式とかで何度かお邪魔させてもらったことがあるんですけど、あんな感じになっているのを知って、すごくびっくりしました。また、幼稚園と小学校が隣接しているメリットが最大限に活かされているなというのと、資料をいただいた中で、教育目標、令和6年度育てたい力というのを一つ一つ拝見させてもらったんですけど、全てに当てはまっているなというふうに本当に思いました。自分を大切にする、人とつながる心地よさ、自分で考えて行動するというのは、全て体現されているなというふうに感じて、こんないい幼稚園が泉南市にあったんだと思って、すごく勉強になりました。

それと、青少年センターは、先月お伺いしたんですけども、何度かここでいろんなことを聞いたりとか、メールでお便りの内容をいただいていたとかするんですけど、実際に見るといふのと、拝見して読ませてもらうといふのが全然違うなというのと、すごく子どもたち一人一人が生き生きとしていて、ああいう放課後の

過ごし方があるんだなというのは、すごく親としても勉強になりました。ありがとうございました。

○**冨森教育長** ありがとうございます。では、辻野委員、お願いいたします。

○**辻野委員** 今日はありがとうございました。母校以外で学校、幼稚園等に伺うのが初めてでしたので、どれも新鮮に伺わせていただいて、行ってすぐに「こんにちは」攻撃が始まりまして、皆さん元気やなと思いました。

前回の青少年センターは、旧青少年センター施設には1度か2度行ったことがあったんですけども、こちらも皆さん元気よくいらしゃったんで、泉南市は大丈夫やなと思います。

また機会があれば、いろんなところに視察・見学に行かせていただきたいなと思っております。ありがとうございました。

○**冨森教育長** 飯沼委員。お願いします。

○**飯沼委員** 今日はありがとうございました。初めてあおぞら幼稚園に行かせてもらって、素敵な施設だと思いました。思ったよりも活発で自由に活動していて、また、おおらかな感じで、ここでケガするっていう感じでもなく見ていました。また、パッと見たら、小学校の校長と幼稚園の園長が話している姿とかを見て、幼稚園と小学校が連携されていると思いました。また、一丘小学校を初めてぐるっとまわらせてもらって、広い敷地だなと思いました。

青少年センターも見させてもらって、やっぱり人と人との交流ってすごい大事やなと思いました。コロナ禍があって家の中でずっといる自分の子どもを見ていると、こういうところで人との交流を得て、こういうふうなことを注視しよう、上級生らがしているからこうしようっていう、目で見て学ぶというのをすごく感じさせてもらい、すごくいい施設を見学させても

らえたなと思いました。ありがとうございました。

○**冨森教育長** 湊委員、お願いします。

○**湊委員** どうもありがとうございました。最初、幼稚園児の方がのびのびとするのかなと思ったら、案外、小学校の子どもたちが楽しそうに遊んでいたというのが印象深かったです。

それと、幼稚園にある自然の山ですか、やっぱり山があるだけで動きに変化も出ますし、自然がそこに宿るというのか、木が生えて、虫が寄ってきてなんていう話もされていたので、（仮称）西信達義務教育学校の低学年用のグラウンドにそれもありなのかなという印象を持ちました。

青少年センターも、子どもたちが放課後のびのびと遊ぶ姿も見ましたし、それだけが独立した施設じゃなくて、中学校に併設されているというのかなりメリットがあって、子どもなりに、ちょっと大きいお兄ちゃんお姉ちゃんとの交流であるとか、あるいは、逆に、中学生から見た自分よりも年下の子どもとの交流というのか、そういうのもあって、大変いい施設だなというのが印象です。ありがとうございます。

○**冨森教育長** ありがとうございます。2つの施設に視察に行っていたんですけど、どちらもいろんな子どもがいて、それぞれいろんな関わりをする中で育っていく姿というのを垣間見ていただいたのかなというふうに思っています。

大人が設定しているいろんな活動をするというのもあるんですけども、子ども同士が環境を生かしてその中で育っていくというのすごく大事だと思っていて、自分が子どものころに比べて、やっぱり放課後、近所のお友達で年齢違って遊ぶという機会もあまりないと思うので、今回の2つの活動でそういう姿も見られているのかなというふうに私自身も思ったとこ

ろです。

また泉南市も様々取組みをしておりますので、教育委員の皆様にもいろんな活動をしていただければなと思っておりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

それでは、以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これまでの報告、議案のほかにも、御質問や御意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようでしたら、次回、泉南市教育委員会会議令和6年第6回定例会の日程について、お諮りしたいと思います。

原則、第3火曜日の前後としておりますが、日程について、水田教育総務課長から提案をお願いいたします。

○水田教育総務課長 それでは、6月ですけれども、第3火曜日ということになりますと6月18日になりますが、6月17日の月曜日から21日の金曜日までの期間で開催できればと考えております。委員の皆様の御都合を教えてくださいませんか。

(日程調整)

○冨森教育長 それでは、次回の教育委員会会議定例会の開催日時は、令和6年6月19日水曜日、15時からといたします。

以上をもちまして泉南市教育委員会会議令和6年第5回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時49分閉会

署名 ()

()